

第1章 平成17年度山口大学構内遺跡の調査

第1節 平成17年度に実施した遺跡調査の概要

山口大学の関連諸施設は、山口市(吉田・白石構内)、宇部市(小串・常盤構内)、光市(光構内)の県内各市に分散しているが、各構内は「周知の埋蔵文化財包蔵地」内、つまり遺跡の上に立地している。各構内の様相を概略すると、吉田構内は縄文時代後・晩期から江戸時代にかけての全時代を網羅する複合集落遺跡として県内でも著名である吉田遺跡内に、白石構内は弥生時代から古墳時代を中心とした集落遺跡である白石遺跡内に、小串・常盤構内は旧石器時代から江戸時代にかけての遺物が出土する山口大学医学部構内遺跡・山口大学工学部構内遺跡内に、光構内は縄文時代から江戸時代にかけての集落遺跡・遺物散布地である御手洗遺跡・月待山遺跡内に位置している。

このような環境の中、山口大学埋蔵文化財資料館は山口大学構内の埋蔵文化財を保護・活用する施設として、全構内遺跡の調査・研究を担当している。平成17年度の調査体制は以下の通りである。

まず、各構内において地下掘削を伴う工事が立案・計画された場合には、埋蔵文化財資料館専門委員会において事業計画の確認を行った後、文化財保護法の諸手続の下、山口大学各構内が位置する地方公共団体(山口県および各市)の指導により、埋蔵文化財保護の立場から本発掘・予備発掘・立会の三種の方法で調査を厳密に行っている。「周知の埋蔵文化財包蔵地」外に位置する大学関連施設(職員宿舎等)敷地内で地下掘削を伴う工事が実施される場合においても、埋蔵文化財の新規発見の可能性を考慮して掘削時に資料館員が確認調査を行っている。

上記の調査の結果、埋蔵文化財が確認された場合には、同専門委員会が可能な限り、遺跡のさらなる現状変更を避けるべく厳密な協議を行っている。

上記の調査体制の下、資料館が平成17年度に実施した埋蔵文化財の調査は、下記の通り予備発掘調査3件、立会調査9件、確認調査2件の計14件であった。

表1 平成17年度山口大学構内遺跡調査一覧表

調査区分	調査名	構内地区	構内地区割	面積(m ²)	調査期間	本書掲載頁
予備発掘	教育学部附属光小学校体育器具庫新営	光		53	5月19～31日	39～43
	教育総合研究センター改修Ⅰ期工事	吉田	J・K-16	130	6月27～7月22日	5～12
	教育総合研究センター改修Ⅱ期工事	吉田	K・L-16、J-16、17、K-17	92	3月27日～4月28日	18～33
立会	教育総合研究センター改修Ⅰ期工事	吉田	I・J・K-16、H-12、E-20	580	7月12、8月22、9月8・12～14、10月25・28、12月20・22・26～28、1月5～6・10・16～19・23・25・26、2月3・8・9日	13～15
	教育学部附属山口幼稚園・小学校給水管改修	白石		10	8月2・18・25日	34
	日本ペドロロジー学会水田土壌の断面調査	吉田	R-16	3.1	9月23・24日	16
	工学部職員宿舎揚水施設改修	常盤		65	10月21・24・26日	37
	基幹環境整備(外灯取設)	吉田	H-17、H-22・23	7.7	12月5・8日	17
	医学部附属病院基幹環境整備(冷熱源設備他改修)	小串		37	1月6日	35
	教育学部附属光小・中学校護岸改修	光		40	2月3・17日	44
	工学部会議棟身障者スロープ取設工事	常盤		38	2月17日	38
医学部南側通用門塀取設工事	小串		30	平成18年4月21日	36	
確認	経済学部職員宿舎2号フェンス取替工事	その他		1	8月23日	45
	工学部職員宿舎(尾山)揚水施設改修	その他		15	11月14日	46

吉田構内(本部、人文・教育・経済・理・農の各学部:山口市大宇吉田1677-1、教育学部附属養護学校:同吉田3003所在)

平成17年度は予備発掘調査2件、立会調査3件を実施した。

教育総合研究センター改修Ⅰ期工事に伴う予備発掘調査・立会調査では、遺物包含層ならびに溝、ピット、河川を検出し、同改修Ⅱ期工事に伴う予備発掘調査では、共通教育本館側の調査区で弥生時代～古墳時代の河川、共通教育講義棟北側の調査区で弥生時代中期後半の溝を検出し、弥生土器、土師器が大量に出土した。これらの調査は、これまで不明確であった吉田構内中心部の埋蔵文化財の状況を探る貴重なデータとなった。また、日本ペドロジー学会水田土壌の断面調査に伴う立会調査では、溝ないし土壌と考えられる遺構を検出した。その他の立会調査では顕著な埋蔵文化財は確認されなかった。

白石構内(教育学部附属山口幼稚園:山口市白石三丁目1-2、同山口小学校:白石三丁目1-1、同山口中学校:白石一丁目9-1所在)

立会調査1件を実施したが、埋蔵文化財は確認されなかった。



写真1 吉田構内航空写真(南東から)



写真2 白石構内(教育学部附属山口幼稚園・小学校)
航空写真(南東から)



写真3 白石構内(教育学部附属山口中学校)
航空写真(南から)



図1 山口大学吉田・白石構内位置図

小串構内 (医学部、同付属病院:宇部市南小串1丁目1-1)

立会調査2件を実施した。医学部基幹整備(冷熱源地設備改修)工事に伴う立会調査、医学部南側通用門塀取設工事に伴う立会調査とも工事による掘削は造成土の範囲内であり、埋蔵文化財に支障はなかった。小串構内は現在こそ南方の海岸線から乖離しているものの、標高3mの低地部に立地している。また、北方背後には丘陵部が迫っていることもあり、地下の状況は複雑な様相を呈していることが判明しつつある。今後とも、掘削を伴う工事計画等に対しては、慎重な対応が必要不可欠である。

常盤構内 (工学部:宇部市常盤台2丁目16-1)

立会調査2件を実施した。工学部職員宿舎揚水施設改修工事に伴う立会調査、工学部会議棟身障者スロープ取設工事に伴う立会調査とも、地山は確認されたものの遺構は皆無であった。構内北部を除く地域では、過去に遺構が存在したとしても構内造成工事等に伴う大規模な削平により、すでに消失したと考えられる。

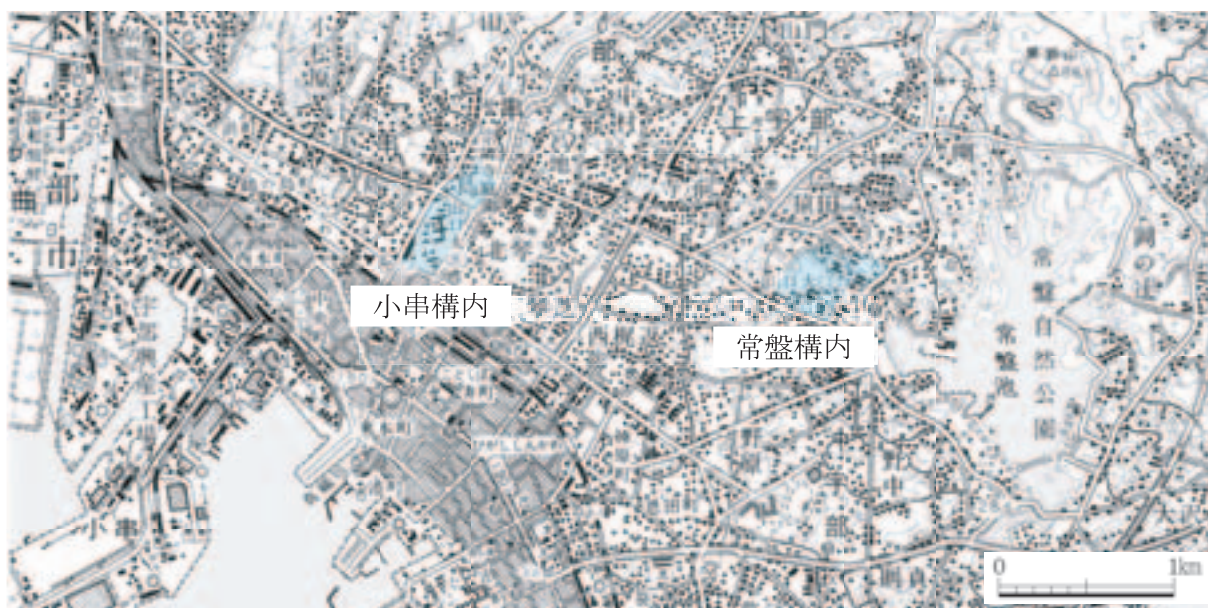


図2 小串・常盤構内位置図



写真4 小串構内航空写真(南東から)



写真5 常盤構内航空写真(南から)

光構内 (教育学部附属光小学校、同光中学校:光市室積8丁目4番1号)

予備発掘調査を1件、立会調査を1件実施した。教育学部附属光小学校体育器具庫新営工事に伴う予備発掘調査では、顕著な遺構・遺物は検出できなかった。しかし、周辺では過去の調査で埋蔵文化財が確認されており、今後とも掘削を伴う工事計画には慎重な対応が必要である。

護岸災害復旧工事に伴う立会調査では、顕著な遺構・遺物はなく造成土及び波浪による2次堆積層から土器片が若干出土するにとどまった。



写真6 光構内航空写真 (北東から)

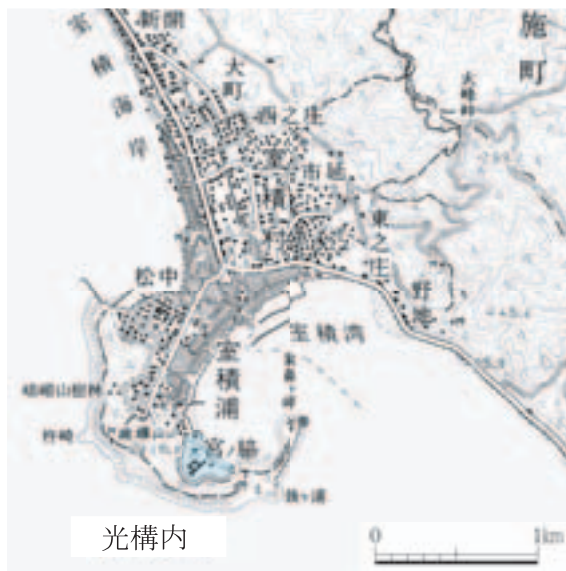


図3 光構内位置図

その他構内

経済学部職員宿舎2号(山口市水の上町6-9)、工学部尾山職員宿舎(宇部市上野中町1-33・34)で各々1件確認調査を実施したが、埋蔵文化財は確認されなかった。